

闘春



国鉄新潟

2013年



明けましておめでとうございます。

約四半世紀に及んだ、「JR採用差別事件」との闘いは「4者4団体」の共同の取り組みの結果として、政治解決を勝ち取ることができました。雇用の要求はJR会社の頑なな姿勢の前に、断念せざるをえませんでした。これによって、'長きにわたったこの闘いの終結を全体で確認しました。

そして、昨年8月には、函館現地交流を行い、故秋元闘争団員のお墓にお参りし秋元さんのご遺族や闘争団の皆さんとも親しく交流をしまりました。函館の皆さんも、みなそれぞれ、新たな一歩を踏み出しています。これで、やっと一つの区切りがついたと思います。

昨年末に行われた衆議院選挙の結果はわれわれを大いに失望させるものでした。国民を欺き続けた民主党政権の大敗は当然としても、悪政の根源をなした自民党が単独過半数を上回る294議席を取るとはどういうことでしょうか。暗澹とし、怒りも湧いてきます。また、マスコミ・メディアの選挙結果を見る前の「自民党大勝」予想は異常なほどでした。これが、結果として、有権者の投票行動に少なからぬ影響を与えたといえないでしょうか。しかし、その自民党も比例区には票が伸びておらず、小選挙区制のおかげで勝っているという事実は、国民が必ずしも政党としての自民党に信任を与えたわけではないことを示しており、我々にとって、これがせめてもの救いです。

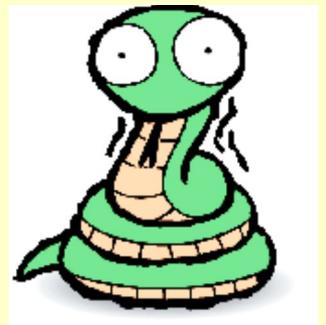
反原発・TPP交渉の問題、消費税増税・年金と暮らしと福祉の問題、そして尖閣・竹島・オスプレイ配備など日本とアジアの平和と安全保障問題等々、日本がさらに危険な方向に行かないよう監視を強める必要があります。

また、うちにおいては、JR会社の新人事賃金制度・アウトソーシングの拡大等、労働条件の低下は、とどまるところを知らない勢いです。

われわれの力はこうした反動の前に、あまりにも小さく、弱いものに思われます。しかし、頑張らなければなりません。大事なことは、反動に対する対抗軸をつくっていくことです。

国労は今年の最重要課題は組織拡大に置き、一年を闘うことを決定しました。職場労働条件の改善の闘いと組織強化・拡大の闘いを結合させ、取り組んでいきましょう。年頭にあって、課題の実現に向けて奮起することをあらためて誓い合いたいと思います。最後に組合員の皆様方のご健康とご活躍を祈念して年頭の挨拶といたします。

NO. 772
発行
13・1月1日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部



2013年 元旦

国鉄労働組合新潟地方本部
執行委員長 関川 和彦

2013年 地本旗開き

1月19日(土) 13時30分~20日(日)



越後湯沢・東映ホテル

地本旗開きが1月19日~20日に開催されます。初めての開催になります。日程については、労働講座・組織経験交流会・旗開き、と盛りだくさんの企画・内容になりました。

労働講座は「並行在来線問題」について講演されます。組織経験交流会は、国労大宮地区本部の組織拡大の取り組みについて報告していただき、意見交換・交流を深めていきたいと考えています。

そして、「旗開き」の開催。企画が多くなりましたが、よろしくお願ひします。

